



石州防災

和瓦

耐寒性・耐塩害性にひとときわ優れ

気品のある和の趣に信頼の防災性能を凝縮

日本建築をさらに格調高く仕上げる滑らかなフォルム。

丸惣70年の技と経験を結集させた、優れた防災性能を備えた和瓦です。

## 防水

水返しと水切りで雨水の進入をガード。BSルーフ53Aには、流れ方向に四段の水返し、桁行き方向に二段の水切りを設けることで、雨水の逆流を強力に防ぎます。



水返して雨水の逆流をシャットアウト。



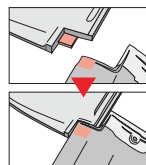
ヨコにそれた水の流れをスムーズに流します。

## 耐風

合体構造で浮き上がりを防止。切り込み部分に2cmのツメを設け、瓦どうしを重ねることで強風による浮き上がりを阻止します。特に左下からの逆風に大きな威力を発揮します。



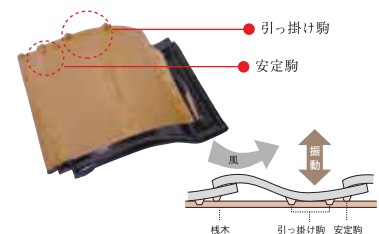
ツメを設けた切鎌部



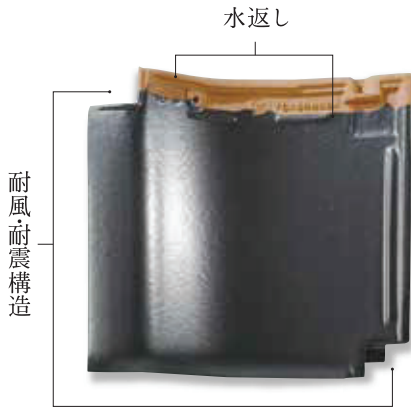
瓦同士の防災合体構造

## 耐震

「引っかけ駒+安定駒」でズレを防ぐ。瓦裏面の「引っ掛け駒+安定駒」の組み合わせ構造で瓦どうしの押さえ込みを強化。地震によるズレなどを防ぎ、また屋根全体の軽量化にもなります。



棟木 引っ掛け駒 安定駒



※写真は印刷色のため、瓦の色を忠実に再現できない場合があります。

◎物性概要

項目	BSルーフ53A
曲げ破壊荷重	平均2800N以上
吸水率	平均5%以下
凍害試験	25回の繰り返しで異常なし
耐薬品性能	異常なし

※上記製品性能値は試験結果であり、保証値ではありません。  
 ※平成22年度島根県産業技術センター試験データに基づく年間平均値です。

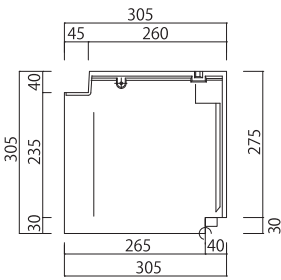
◎製品仕様

寸法	全長305mm(±4mm)全幅305mm(±4mm)	
働き寸法	長さ	235mm(±4mm)
	幅	265mm(±4mm)
葺き枚数	16枚/m <sup>2</sup> ・53枚/坪	
重量	2.7kg/枚(43.2kg/m <sup>2</sup> ・143kg/坪)	

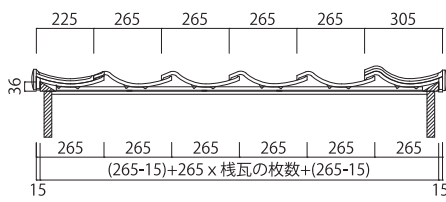
標準屋根勾配と流れ長さ	勾配長さ(m)	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
		-	6	8	10	12	14	16	18

この数値は保証値ではありません。  
 設計に際しては、地域特性や建築物の形状等に留意してください。

◎寸法

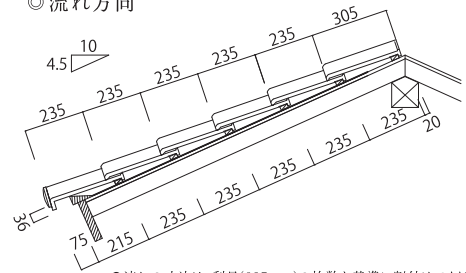


◎桁行き方向



- 桁行き方向の葺き幅は265±4mmの範囲で現場にあわせ調整してください。
- ルーフトープは、タル木ピッチ(45mm以下)で割付けてください。

◎流れ方向

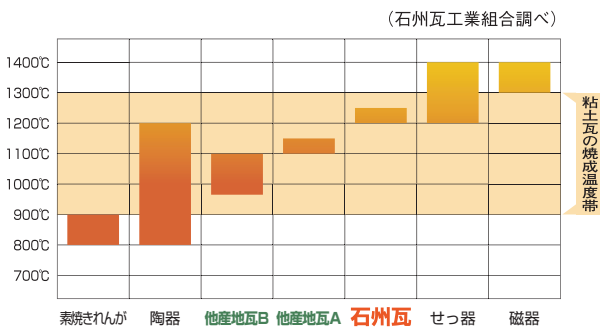


- 流れの寸法は、利足(237mm)の枚数を基準に割付けてください。
- 軒先瓦の出を75mmとし、軒先先端より215mmを第1瓦枚の位置として、順次利足の寸法で瓦枚を設置してください。
- 流れの勾配は4寸以上とします。

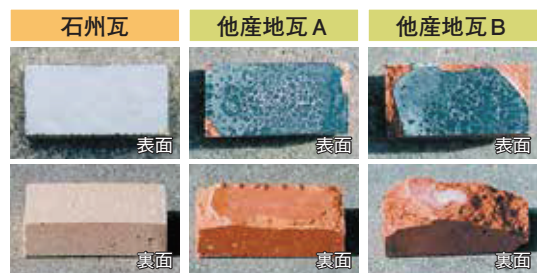
長期耐久性住宅対応のクオリティー

石州瓦最大の特性は寒さや塩害に強く、丈夫で割れにくいこと。  
 100年住宅、200年住宅に必須の屋根材製品です。その秘密は陶器瓦の焼成温度が日本最高の1200度以上であること。  
 それが高級ブランド「石州」の誇りです。だから屋根替えリフォームにも自信を持ってお勧めいたします。

■焼成温度の比較



■塩害試験 (試験体の写真は25㎡m×50㎡mの瓦カットサンプル)



殆ど塩害が見られない石州瓦の試験体  
 塩害で素地の周辺がポロポロになった他産地の瓦  
 塩害で素地の半分がポロポロになった他産地の瓦

(島根県産業技術センター試験より)

安全に関するご注意

●粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。●寒冷積雪地域或いは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。●特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

粘土瓦の特性について

粘土瓦は天然のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。【色ムラ】粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。【貫入】釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいます。これは粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象であり、品質上の問題はありません。【ピンホール】釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいます。これは釉薬の気泡や粘土に含まれている有機物が焼成によって消滅することで生まれますが品質上の問題はありません。

瓦百景株式会社

【出荷・営業・製造】

〒699-2507 島根県大田市温泉津町井田イ945-2

TEL 0855-66-0111 FAX 0855-66-0825

http://kawara100.co.jp